



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

東

上場会社名 株式会社Finatextホールディングス 上場取引所  
 コード番号 4419 URL https://hd.finatext.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)林 良太  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)伊藤 祐一郎 (TEL)03(6265)6828  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	952	54.1	△128	—	△129	—	△140	—
2023年3月期第1四半期	617	78.6	△270	—	△271	—	△243	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △154百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △264百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△2.84	—
2023年3月期第1四半期	△4.99	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,505	8,657	41.4
2023年3月期	17,709	8,801	46.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,080百万円 2023年3月期 8,247百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,352	40.1	21	—	4	—	△164	—	△3.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	49,516,256株	2023年3月期	49,407,656株
2024年3月期1Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期1Q	49,414,614株	2023年3月期1Q	48,755,544株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融を”サービス”として再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものにするを旨としております。

今般、日本の経済は、新型コロナウイルスの5類への移行もあり、感染症法上の位置付けの変更や行動制限の撤廃に伴う社会経済活動の正常化が一段と進むものと期待され、国内の経済活動は一定の回復傾向にあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景とするエネルギーや原材料価格の高騰等によるインフレ懸念が高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの後押しは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズも引き続き高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、前連結会計年度末以降、金融インフラストラクチャ事業のパートナー数の増加及び投資一任サービスを提供したパートナー顧客のAUM（運用資産残高）の増加、フィンテックソリューション事業の大型プロジェクトの納品の増加により、当第1四半期連結累計期間における売上高は952,358千円（前年同期比54.1%増）、営業損失は128,924千円（前年同期は270,154千円の営業損失）、経常損失は129,327千円（前年同期は271,097千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は140,145千円（前年同期は243,400千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供するものであります。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にサービス提供を開始したパートナーからの保守運用業務によるストック収益、及び投資一任サービスを提供したパートナーの顧客が保有するAUMの増加等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。

サービスの初期開発については、当第1四半期連結累計期間中の新規ローンはなかったため、「BaaS」上での稼働サービス数は8サービス（前連結会計年度末時点：8サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向けた「Inspire」の機能の拡充と、合意済みのパートナーへの「Inspire」の初期導入支援に注力いたしました。当第1四半期連結累計期間においては、「Inspire」の機能を拡充、初期導入先向けへの開発業務に注力しました。

初期導入支援については、当第1四半期連結累計期間中の新規ローンはなかったため、「Inspire」上での稼働社数は9社（前連結会計年度末時点：9社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、引き続きクレジットインフラストラクチャの基盤開発に注力しました。

コスト面については、証券インフラストラクチャビジネス、保険インフラストラクチャ、及びクレジットインフラストラクチャビジネスともに、将来のビジネス拡大に備えるために、引き続き人材採用を中心とした先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は400,562千円（前年同期比56.1%増）、セグメント損失は214,935千円（前年同期は279,732千円のセグメント損失）となりました。

(ii) フィンテックソリューション事業

フィンテックソリューション事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

ソリューションビジネスでは、引き続きシステム構築を支援した、株式会社三菱UFJ銀行「Money Canvas」の追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、フロー収益が拡大し、当第1四半期連結累計期間のフィンテックソリューション事業の売上高は295,562千円（前年同期比115.1%増）、セグメント利益は25,376千円（前年同期は37,712千円のセグメント損失）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを機関投資家や官公庁に提供するデータライセンスビジネスや、企業のデータ利活用を支援するデータ解析支援ビジネスを行っております。

データライセンスビジネスでは、機関投資家向けにオルタナティブデータを提供する「Alternata Data」において分析基盤の拡充をいたしました。

以上の結果、「Alternata Data」の契約件数が引き続き好調に伸長し、当第1四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は256,233千円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益は42,654千円（前年同期比12.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産合計は19,505,981千円となり、前連結会計年度末に比べて1,796,155千円増加いたしました。

流動資産は19,034,585千円となり、前連結会計年度末と比較して1,723,330千円増加いたしました。これは主に証券業における預託金、信用取引資産、並びに短期差入保証金があわせて1,414,134千円、現金及び預金が410,049千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は471,395千円となり、前連結会計年度末と比較して72,824千円増加いたしました。これは主に長期差入保証金が45,785千円、無形固定資産が21,064千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は10,848,762千円となり、前連結会計年度末と比較して1,940,847千円増加いたしました。

流動負債は10,769,759千円となり、前連結会計年度末に比べて1,944,058千円増加いたしました。これは主に証券業における預り金、信用取引負債、並びに受入保証金が1,652,023千円、その他に含まれる預り金が247,642千円増加したこと等によるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は79,002千円となり、前連結会計年度末に比べて3,210千円減少いたしました。これは繰延税金負債が3,210千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,657,218千円となり、前連結会計年度末に比べて144,692千円減少いたしました。これは主に非支配株主持分が22,728千円、資本金が4,816千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が140,145千円、資本剰余金が29,535千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,354,377	5,764,427
売掛金	545,225	302,683
契約資産	77,099	174,496
営業貸付金	167,335	184,213
証券業における預託金	6,621,000	7,731,000
証券業における信用取引資産	3,463,695	3,694,684
証券業における短期差入保証金	700,193	773,339
未収入金	47,738	111,140
その他	337,840	298,736
貸倒引当金	△3,250	△135
流動資産合計	17,311,255	19,034,585
固定資産		
有形固定資産	91,983	94,401
無形固定資産	133,364	154,428
投資その他の資産	173,222	222,565
固定資産合計	398,570	471,395
資産合計	17,709,825	19,505,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,869	29,018
契約負債	245,754	467,834
証券業における預り金	2,705,923	3,674,407
証券業における信用取引負債	1,608,748	1,498,530
証券業における受入保証金	3,265,837	4,059,595
1年内返済予定の長期借入金	37,500	18,750
未払法人税等	79,369	28,595
賞与引当金	-	38,266
その他	846,698	954,760
流動負債合計	8,825,701	10,769,759
固定負債		
資産除去債務	27,900	27,900
繰延税金負債	9,651	6,441
固定負債合計	37,551	34,341
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	44,661	44,661
特別法上の準備金合計	44,661	44,661
負債合計	8,907,914	10,848,762
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	77,358	82,175
資本剰余金	12,239,531	12,209,995
利益剰余金	△4,090,784	△4,230,929
株主資本合計	8,226,105	8,061,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	177
繰延ヘッジ損益	9,035	△1,563
為替換算調整勘定	12,370	20,584
その他の包括利益累計額合計	21,569	19,197
新株予約権	39,233	39,049
非支配株主持分	515,002	537,730
純資産合計	8,801,911	8,657,218
負債純資産合計	17,709,825	19,505,981

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	617,907	952,358
売上原価	330,908	444,098
売上総利益	286,998	508,259
販売費及び一般管理費	557,153	637,184
営業損失(△)	△270,154	△128,924
営業外収益		
受取利息	302	646
消費税等差額	1,379	2,420
その他	678	256
営業外収益合計	2,360	3,323
営業外費用		
支払利息	382	334
為替差損	989	3,318
創立費	1,899	-
その他	32	73
営業外費用合計	3,303	3,725
経常損失(△)	△271,097	△129,327
特別利益		
新株予約権戻入益	158	-
特別利益合計	158	-
特別損失		
減損損失	3,658	4,750
特別損失合計	3,658	4,750
税金等調整前四半期純損失(△)	△274,598	△134,077
法人税、住民税及び事業税	19,235	26,572
法人税等調整額	△15,976	356
法人税等合計	3,258	26,929
四半期純損失(△)	△277,856	△161,006
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,455	△20,860
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△243,400	△140,145



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△277,856	△161,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	13
繰延ヘッジ損益	-	△10,599
為替換算調整勘定	13,711	17,451
その他の包括利益合計	13,707	6,865
四半期包括利益	△264,148	△154,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△236,494	△142,517
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,654	△11,623

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	107,453	—	—	107,453	—	107,453
保険インフラストラクチャ ビジネス	75,566	—	—	75,566	—	75,566
クレジットインフラストラク チャビジネス	8,625	—	—	8,625	—	8,625
マーケティングビジネス	—	29,598	—	29,598	—	29,598
ソリューションビジネス	—	107,777	—	107,777	—	107,777
データライセンスビジネス	—	—	208,487	208,487	—	208,487
データ解析支援ビジネス	—	—	15,430	15,430	—	15,430
顧客との契約から生じる収益	191,645	137,376	223,918	552,939	—	552,939
その他の収益	64,967	—	—	64,967	—	64,967
外部顧客への売上高	256,612	137,376	223,918	617,907	—	617,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	256,612	137,376	223,918	617,907	—	617,907
セグメント利益又は損失(△)	△279,732	△37,712	48,617	△268,827	△1,327	△270,154

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,327千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△1,327千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	159,639	—	—	159,639	—	159,639
保険インフラストラクチャ ビジネス	127,269	—	—	127,269	—	127,269
クレジットインフラストラク チャビジネス	30,191	—	—	30,191	—	30,191
マーケティングビジネス	—	26,235	—	26,235	—	26,235
ソリューションビジネス	—	269,326	—	269,326	—	269,326
データライセンスビジネス	—	—	244,833	244,833	—	244,833
データ解析支援ビジネス	—	—	11,400	11,400	—	11,400
顧客との契約から生じる収益	317,099	295,562	256,233	868,895	—	868,895
その他の収益	83,462	—	—	83,462	—	83,462
外部顧客への売上高	400,562	295,562	256,233	952,358	—	952,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	400,562	295,562	256,233	952,358	—	952,358
セグメント利益又は損失(△)	△214,935	25,376	42,654	△146,904	17,980	△128,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額17,980千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額17,980千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、これまで「フィンテックソリューション事業」に含めておりましたクレジット事業について、インフラストラクチャビジネスの売上比率が高まり始めており、今後ますます当事業におけるインフラストラクチャビジネスへの依存度が高まることを鑑み、「金融インフラストラクチャ事業」に含めて記載する方法に変更しております。

また、収益の分解情報の区分についても、これまで「ソリューションビジネス」に含めておりましたクレジット事業について、同様の理由により、「クレジットインフラストラクチャビジネス」の区分を追加して記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。